SARAYA

屋内用

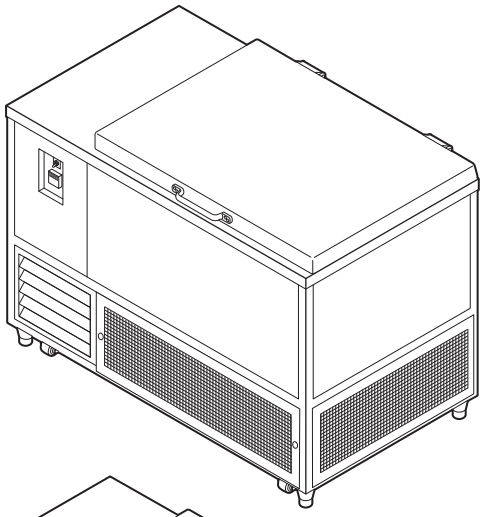
ラピッドフリーザー

SF-10 / SF-20

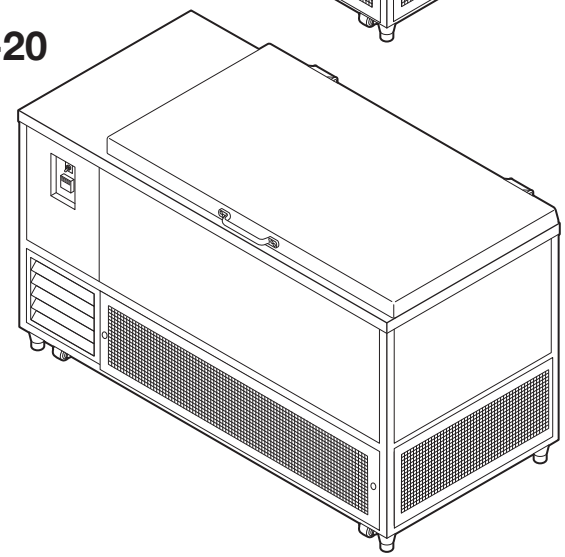
取扱説明書

お買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本紙をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。お読みになったあとは、ご使用になる方がいつでも確認いただける場所に保管してください。
製品についてご不明な点は、当社「お問い合わせ窓口」までお問い合わせください。

SF-10



SF-20



梱包内容

- 本体 …… 1台
- 標準ラック
  - SF-10 …… 2個
  - SF-20 …… 3個
- 取扱説明書 …… 本紙

目次

ページ

安全上のご注意……1
各部の名称……4
設置の前に……5
設置方法……6
- 設置場所の確認　• 製品の固定
- 電源コードの接続

ご使用の前に……8
使用方法……9
- 薬液の投入　• 運転開始
- 食品の冷凍　• 食品の取り出し
- 冷凍液の補充　• 運転終了

お手入れ方法……16
- 本体の清掃　• 冷凍液の清掃
- 庫内フィルターの清掃
- コンデンサーフィルターの清掃
- 冷凍液の交換
- 長期間使用しない場合の清掃

定期点検……21
故障かな?と思ったら……22
仕　様……23
アフターサービス……25
お問い合わせ窓口……裏表紙

安全上のご注意 1

ご使用の前に、この「安全上のご注意」を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
ここには、ご使用になる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	誤った取り扱いをしたときに死亡や重傷（※）などに結びつく可能性があるもの

図記号の説明	行為を禁止する記号です。 例:	行為を強制、指示する記号です。 例:

（※）重傷とは、失明やケガ、やけど（高温･低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療のために入院や長期通院を要するものをさします。

据え付け上の注意

⚠警告

本紙で禁止･指示した規格以外での設置は行わない。
事故やケガ、故障、食品の劣化や品質低下の原因になります。

湿気やほこりの多い場所に設置しない。
火災や感電、故障の原因になります。

結露が生じる場所に設置しない。
発火や感電、故障、劣化の原因になります。

設置･移設は、必ず当社サービスマンか専門業者に依頼する。
設置上の不備は、火災や感電、故障の原因になります。

丈夫で段差のない水平な場所に確実に設置する。
設置上の不備は、転倒によるケガや故障の原因になります。

火気の近く、火花が出る器具の近くに設置しない。
火災や故障の原因になります。

油やガスの漏れる恐れのある場所に設置しない。
引火による火災の原因になります。

直射日光の当たる場所、高温になる場所に設置しない。
火災や故障、冷凍能力低下の原因になります。

設置場所により漏電ブレーカーを設置する。
未設置は感電の原因になります。
設置については専門業者にご依頼ください。

アースを確実に接続する。
未接続は感電や漏電、故障の原因になります。

換気が十分に行える場所に設置し、換気する。
換気が不十分だと揮発した冷凍液が充満する可能性があり、引火したり気分が悪くなったりする恐れがあります。

使用上の注意

⚠警告

本紙で禁止・指示した規格以外での使用は行わない。
事故やケガ、故障、食品の劣化や品質低下の原因になります。

絶対に分解・修理・改造は行わない。
ケガや感電、故障の原因になります。
修理については当社「お問い合わせ窓口」にご相談ください。

扉を開けたままにしない。
以下のような事故に繋がる恐れがあるので、食品の投入時や冷凍液の補充時以外は必ず扉を閉めてください。
- ●槽内に人が落ちておぼれることによる窒息や誤飲など。
- ●異物が混入し冷凍液や食品が汚染されることによる劣化や品質低下など。

食品の急速冷凍以外の目的で使用しない。
思いがけない事故や故障の原因になります。

タバコ、ローソクなどの火気を近づけない。
火災や故障の原因になります。

揮発性の引火物や可燃性スプレーを近くで使用しない。
引火による火災の原因になります。

電源コードを傷付けたり、過剰なストレスを加えたり、加熱したりしない。
火災や感電の原因になります。

電源コードや電源プラグにいたみがあるとき、コンセントの差し込みがゆるいときなどは使用しない。
発火や感電、ショートの原因になります。

指定する電源（三相AC200V）以外では使用しない。
火災や感電の原因になります。

専用電源を使用すること。
他の製品との共用やたこ足配線などで、コンセントや配線器具の定格を超える使い方をすると、感電、発熱、火災、誤動作の原因になります。

異常発生時にはただちに運転を停止し、ブレーカーを落とすか、電源プラグをコンセントから抜く。
火災や感電の原因になります。お買い求めの販売店、または当社「お問い合わせ窓口」にご連絡ください。

濡れた手で電源プラグを持たない。
感電やショートの原因になります。

電源プラグは刃の根元まで確実に差し込み、ほこりが溜まらないように定期的に清掃する。
火災や異常発熱の原因になります。

電源プラグは、電源コードを持たずにプラグ部を持ってコンセントから抜く。
電源プラグが破損し、発火や感電の原因になります。

製品に水をかけない。
漏電による感電や火災、故障の原因になります。

当社指定の冷凍液以外は使用しない。
思いがけない事故や、故障、冷却不足による食品の品質低下の原因になります。

冷凍液の取り扱いについては、使用する冷凍液の注意事項に従う。
思いがけない事故や、故障の原因になります。

作業時には防水手袋を着用し、冷凍液に長時間触れない。
凍傷の原因になります。
また、冷凍液はエタノールが含まれているため、肌が荒れる恐れがあります。

食品の投入時や冷凍液の補充時には、冷凍液の飛び散りに注意する。
冷凍液が飛び散ると、目に入るなどの危険性があります。

冷凍液を入れずに運転しない。
故障の原因になります。

製品の上に乗ったり、物を置いたりしない。
落下によるケガや故障の原因になります。

物をぶつけたりして、強い衝撃を与えない。
感電や故障の原因になります。

槽内に硬い物や重たい物を落とさない。
故障の原因になります。

扉を乱暴に開閉しない。
故障の原因になります。

扉の開閉時は指詰めに注意する。
ケガの原因になります。

製品を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従う。

定期点検や清掃を行う。
製品の安全および性能を保つため、定期点検や清掃作業を行ってください。

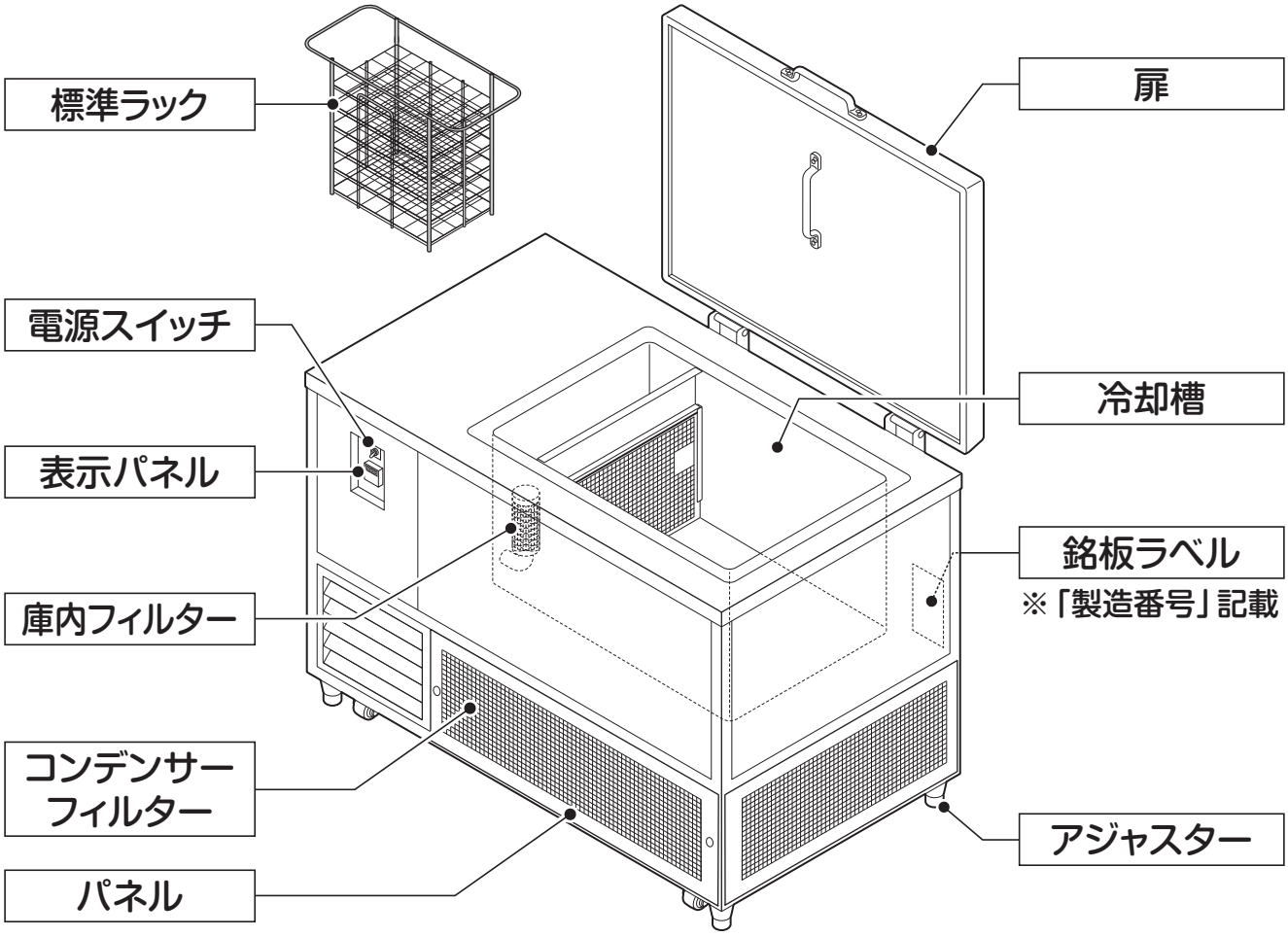
点検や清掃のときは運転を停止し、電源プラグを抜く。
感電やケガの原因になります。

長期間使用しないときや保管するときは以下の作業を行う。
①電源プラグを抜く。②冷凍液を抜く。③製品を清掃する。
液漏れによる漏電や故障、製品や冷凍液の劣化の原因になります。

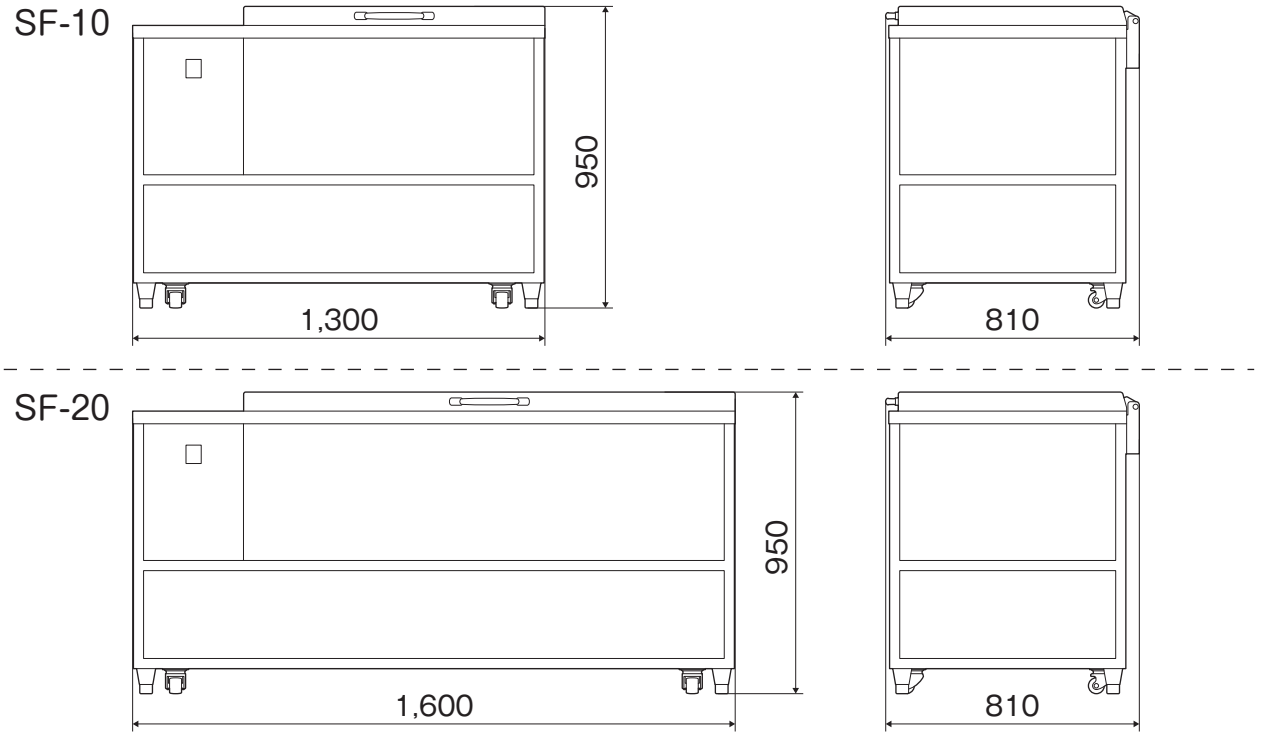
冷凍液はこぼさないように補充する。
こぼれた場合はすぐに拭き取ってください。
事故や故障の原因になります。

製品を移動させるときは冷凍液を取り出す。
液漏れによる事故や故障の原因になります。

各部の名称



外観寸法図



寸法単位:mm（小数点以下切り上げ）

設置の前に

設置には専門の技術が必要ですので、お買い求めの販売店、または当社「お問い合わせ窓口」もしくは専門業者にご依頼ください。

≪設置を行う方へ≫

●取り付け場所については、取り付け上の注意事項に従いお客様の同意を得てから取り付けてください。

●電源供給元は、以下の専用電源を準備されていることを確認してください。

型 式	電源電圧	ブレーカー（漏電遮断器）	配線太さ
SF-10	三相AC200V (50Hz/60Hz)	定 格 電 流：20A 定格感度電流：30mA	2.0mm^2
SF-20		定 格 電 流：30A 定格感度電流：30mA	3.5mm^2

●電源コードの長さは約4mです。電源供給元はこれに適した位置で、なおかつ水のかからない位置に設けてください。

●設置時に製品を傷付けたり汚したりしないでください。誤作動や作動不良の原因になります。
また、汚れたままにしておくと、付着痕や腐食などの原因になります。

●電気製品のため、絶対に水をかけないでください。

●製品は本紙にもとづき、必ず正しく設置してください。

●設置完了後はお客様に本紙の内容をよくご説明ください。

設置方法

設置場所の確認

以下のことを確認します。

●設置に適した、丈夫で段差のない水平な場所であること。

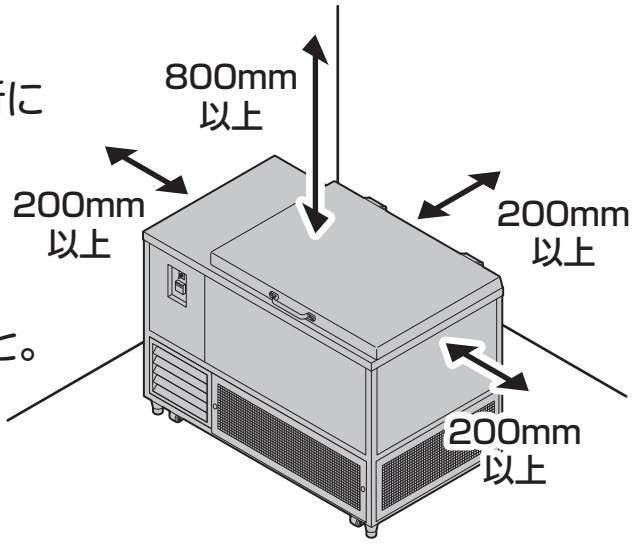
●環境温度が5～30℃に保たれた場所であること。

●放熱のために、左側面から200ｍｍ以上、右側面から200ｍｍ以上、背面から200mm以上、扉の開閉のために天面から800mm以上のスペースを確保できること。

●火気の近くや、直射日光のあたる場所に設置しないこと。

●水気や湿気のある場所には設置しないこと。

●直接水のかかる場所に設置しないこと。



注 意

●適切なスペースを確保しないと冷却力が低下します。

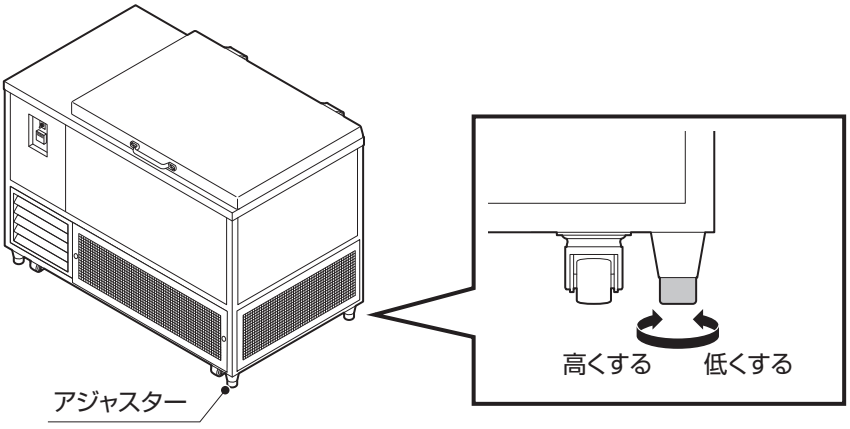
●製品の周囲に物を置いたり、カバーなどで覆ったりしないでください。放熱できず、冷却力が低下します。

※冷却力が低下すると、冷却不足による食品の品質低下の原因になります。

製品の固定

アジャスターを伸ばし、製品を固定します。

※アジャスターは本体が水平になるように調整してください。

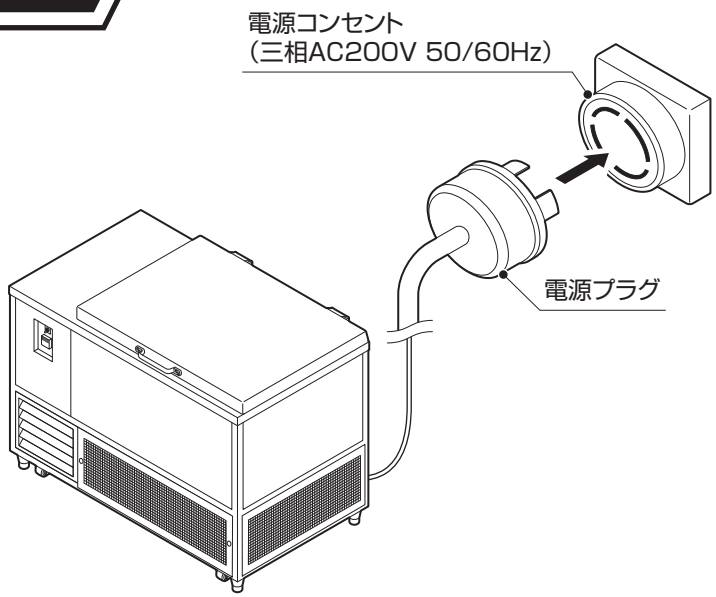


電源コードの接続

電源コンセントに電源プラグを
差し込みます。

注 意

電源プラグは、根元まで確実に差し込んで
ください。



事故やケガ、故障、冷却不足による食品の品質低下の原因になるので、作業中は以下のことを必ず守って使用してください。

●食品の急速冷凍以外の目的で使用しない。

⇒事故や故障の原因になります。

●冷凍液の取り扱いについては冷凍液の注意事項に従い、当社指定の冷凍液「ラピノールCL」以外は使用しない。

⇒事故や故障、冷却不足による食品の品質低下の原因になります。

●作業時には防水手袋を着用し、冷凍液に長時間触れない。

⇒凍傷の原因になります。また、冷凍液はエタノールが含まれているため、肌が荒れる恐れがあります。

●食品の投入時や冷凍液の補充時以外は必ず扉を閉める。

⇒槽内に人が落ちることによる事故や、異物混入による冷凍液や食品の汚染、劣化や品質低下などの原因になります。

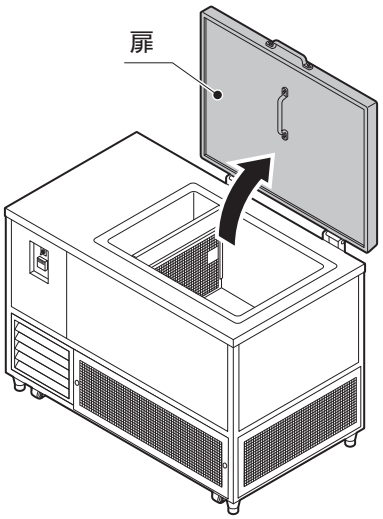
●食品の投入時や冷凍液の補充時には、冷凍液の飛び散りに注意する。

⇒冷凍液が飛び散ると、目に入るなどの危険性があります。

使用方法

薬液の投入

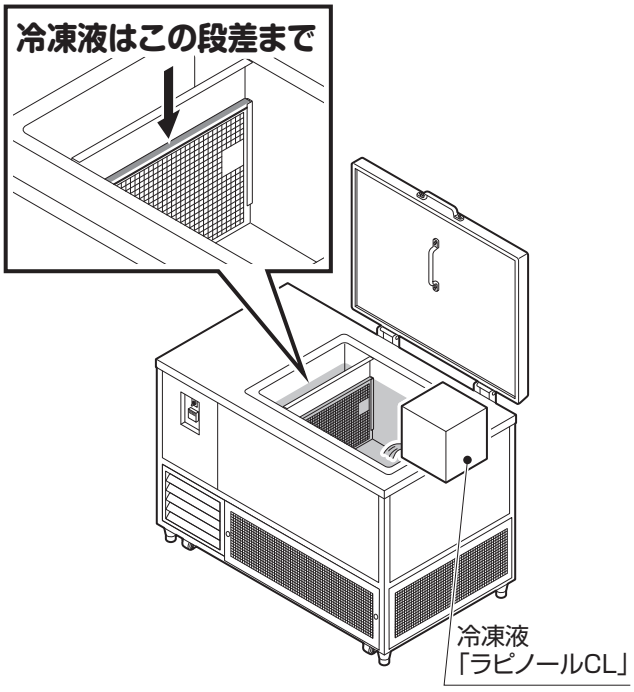
①扉を開けます。



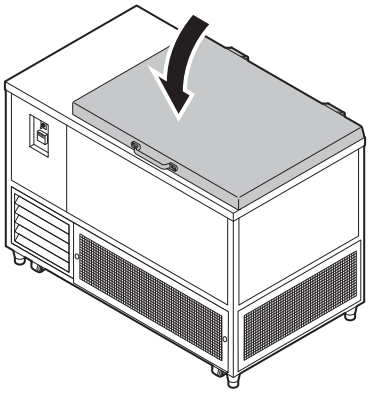
②冷却槽の指定の位置（右図）まで、
冷凍液を入れます。

注 意

- ●冷凍液は、当社指定の「ラピノールCL」を使用してください。
- ●指定の位置以上に冷凍液を入れないでください。食品を入れたときに冷凍液があふれる恐れがあります。
- ●冷凍液は飛び散りに注意して、こぼさないようにゆっくりと入れてください。

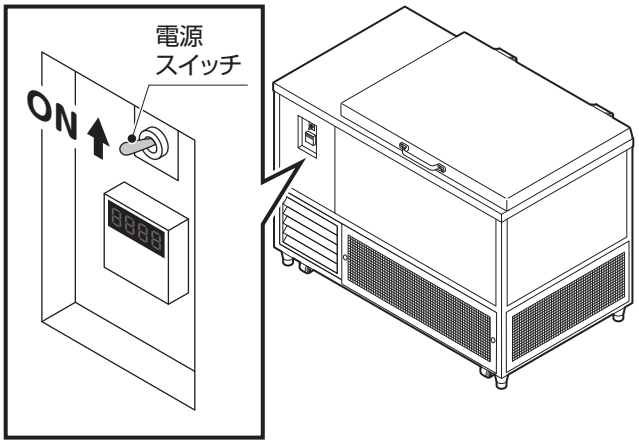


③扉を閉めます。



運転開始

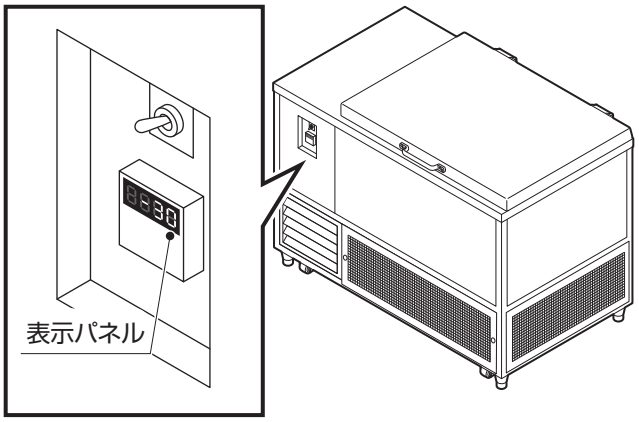
①電源スイッチを “ON” にします。
⇒冷却を開始します。



注 意

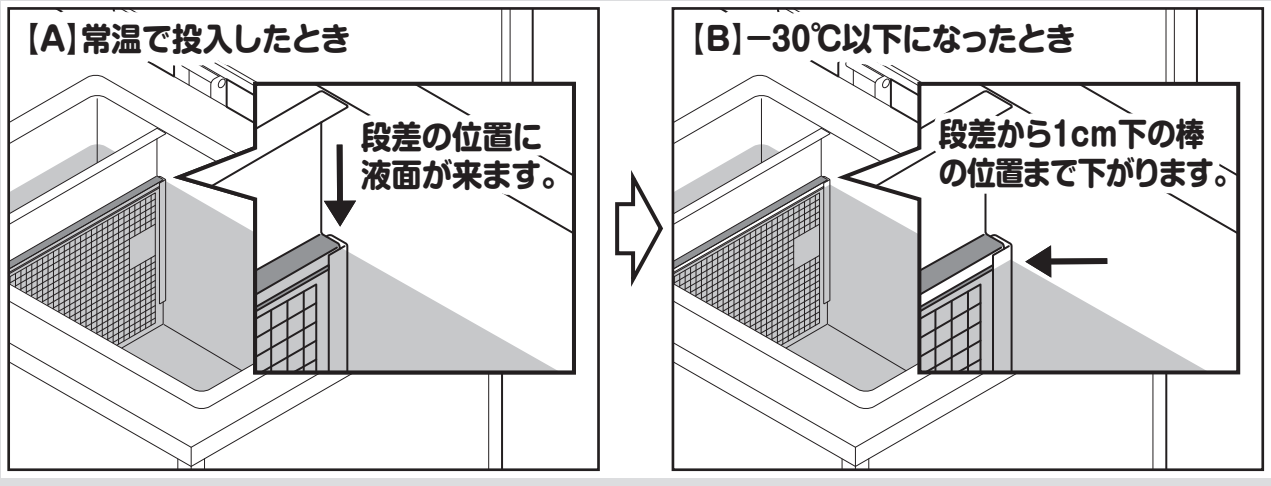
冷凍液を入れずに運転しないでください。
故障の原因になります。

②表示パネルの温度が “−30℃以下” になるまで待ちます。



冷却時間の目安は約4時間※です。
※液温20℃から冷却を始めた場合の時間です。周囲環境によって変わります。

冷凍液は “−30℃以下” になると、液面が下図【B】の位置まで下がります。これは温度が下がると冷凍液の体積が徐々に収縮するためであり、故障による液漏れではありません。
※食品を入れていないときの水位です。

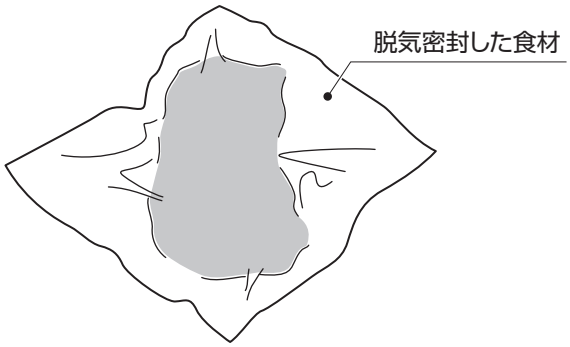


食品の冷凍

①食品を脱気密封します。

注 意

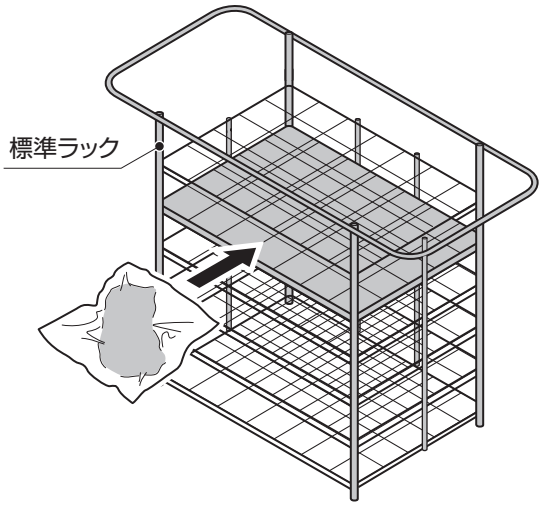
- ●脱気密封は、食品の表面と袋の間に空気の層ができない程度に行ってください。
- ●脱気密封の仕方などの詳細については、脱気包装機の取扱説明書をご確認ください。
- ●必ず冷凍用の袋を使用してください。



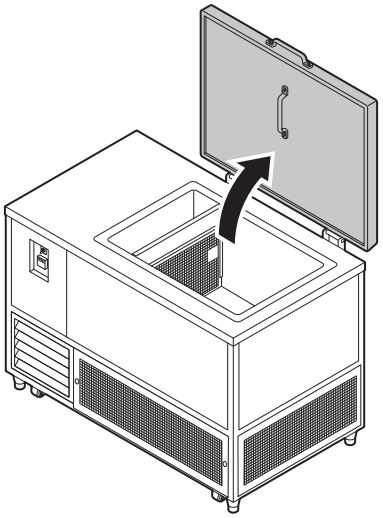
②標準ラックに食品を載せます。

注 意

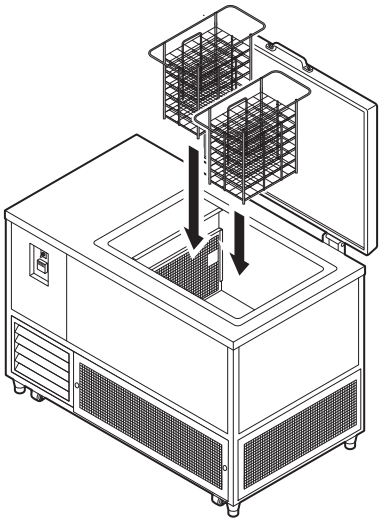
- ●食品は板と板の間に載せ、一番上の棚板には載せないでください。
- ●最大冷凍処理量を超える量の食品を入れると、冷却不足による食品の品質低下の原因になります。



③扉を開けます。



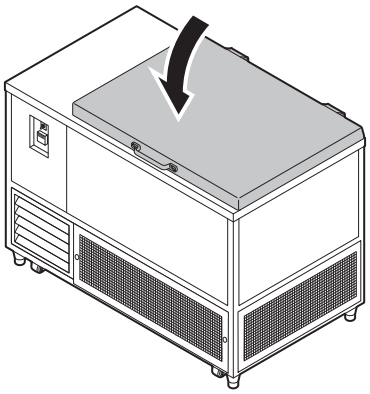
④標準ラックを冷却槽に入れます。



注 意

標準ラックは1つずつ入れてください。
1つずつ入れないと、標準ラックが落下して冷凍液が飛び散る恐れがあり、目に入るなどすると危険です。

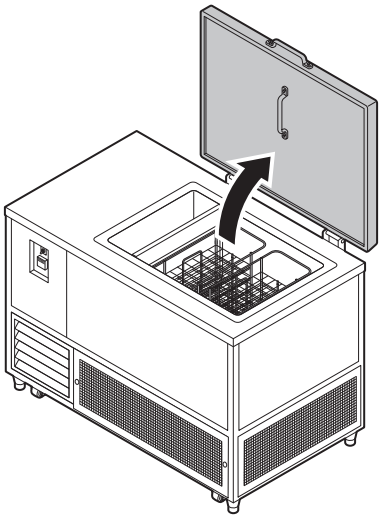
⑤扉を閉めます。
⇒食品を急速冷凍します。



冷凍時間は食品の種類や形状、周囲環境や冷凍開始時の温度により異なります。

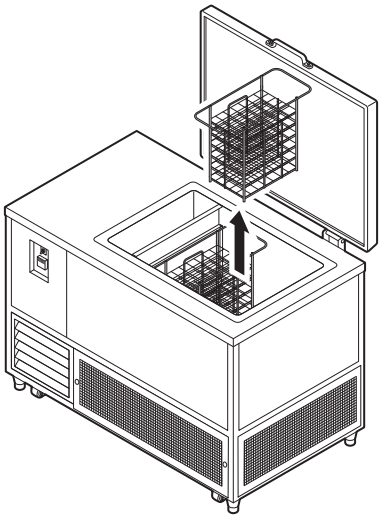
食品の取り出し

①扉を開けます。



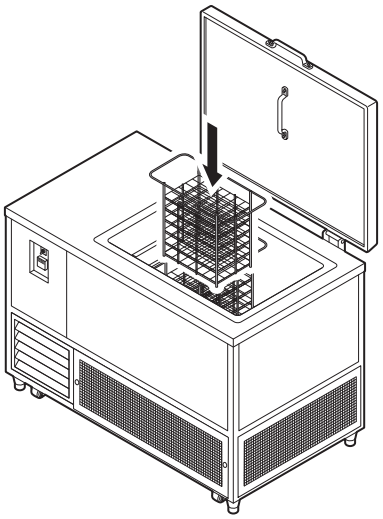
②標準ラックを1つ取り出します。

③90度回して別の標準ラックの上に置き、食品や標準ラックに付いている冷凍液を切ります。



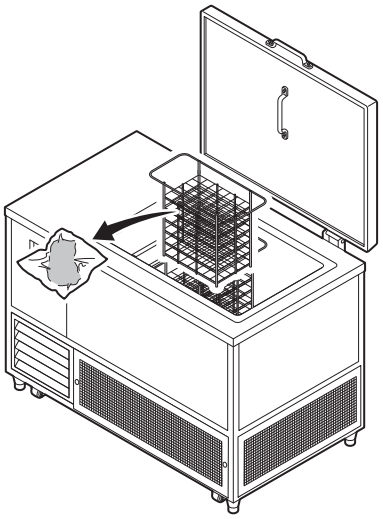
注 意

標準ラックは1つずつ取り出してください。
1つずつ取り出さないと、標準ラックが落下して冷凍液が飛び散る恐れがあり、目に入るなどすると危険です。



④食品を取り出します。

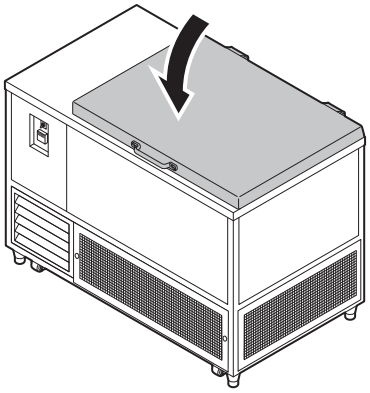
⑤空の標準ラックを冷却槽に戻して、
他の食品も同様に取り出します。



注 意

空の標準ラックは床などの不衛生な場所に置かないでください。

⑥食品を取り出したら、扉を閉めます。



注 意

冷却槽のフチや扉に結露や液垂れがある場合は、乾いたやわらかい布で拭き取ってください。

冷凍液の補充

製品を使用していると、食品などに冷凍液が付着し、槽内の冷凍液が徐々に減っていきます。

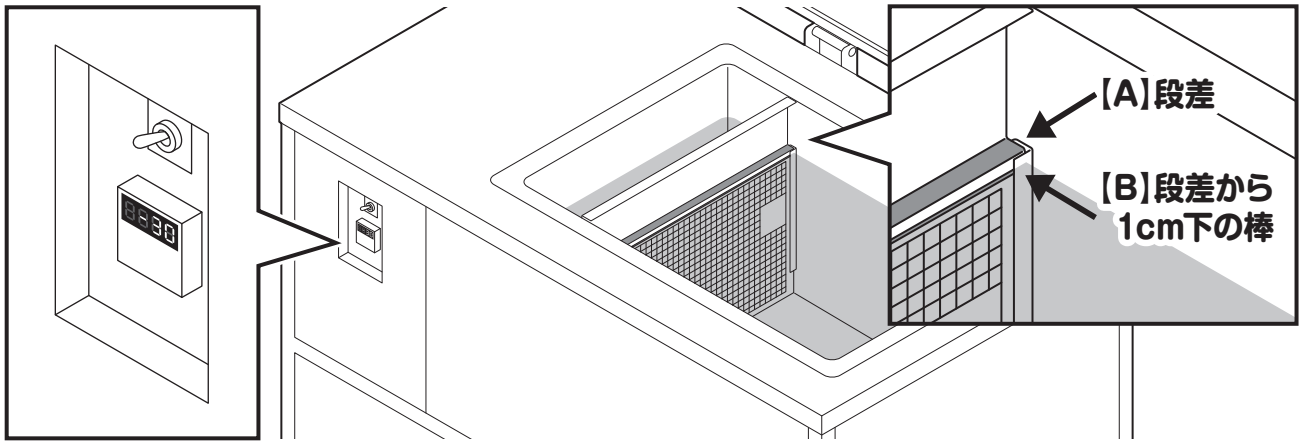
表示パネルの温度が “−30℃以下” のときに、冷凍液が下図【B】の位置よりも低くなっている場合は、【A】の位置まで冷凍液を補充してください。

※常温時に【A】の位置より低い場合、【A】の位置まで冷凍液を補充してください。

注 意

●冷凍液が不足していると、冷却不足による食品の品質低下の原因になります。

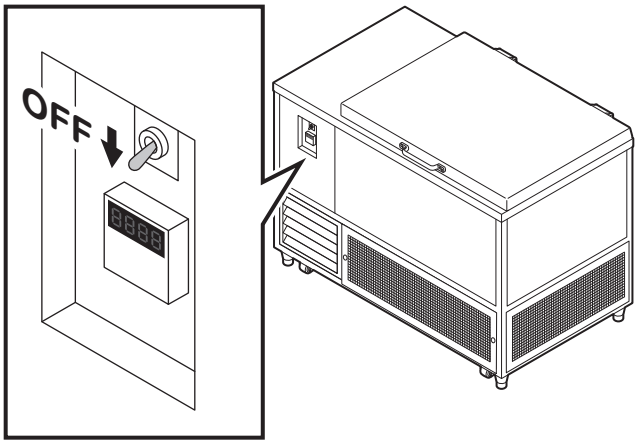
●食品を入れていないときの水位です。



運転終了

①作業終了後は、電源スイッチを “OFF” にします。

②扉が閉まっていることを確認します。



お手入れ方法 16

本体の清掃

本製品を末永くお使いいただくため、定期的にお手入れをしてください。

お手入れのときは、必ず電源スイッチが“OFF”になっていることを確認し、電源プラグを抜いてください。

汚れは乾いた布で拭き取ってください。

汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をふくませた布で拭き取ってください。そのあと、水で濡らしてよく絞った布で洗剤を拭き取り、乾いた布で拭いてください。

注 意

●やわらかい布を使用してください。

●化学ぞうきんを使用するときは、その注意書きに従ってください。

●次のものは使わないでください。
シンナー・ベンジン・アルコール・石油・粉石けん・みがき粉・中性洗剤以外の洗剤類・熱湯・酸・アルカリ・たわしなど

冷凍液の清掃

冷凍性能を保つため、以下の清掃を行ってください。

【1】ゴミなどの異物が浮遊しているとき
⇒少量のゴミが浮遊している場合は取り除いてください。

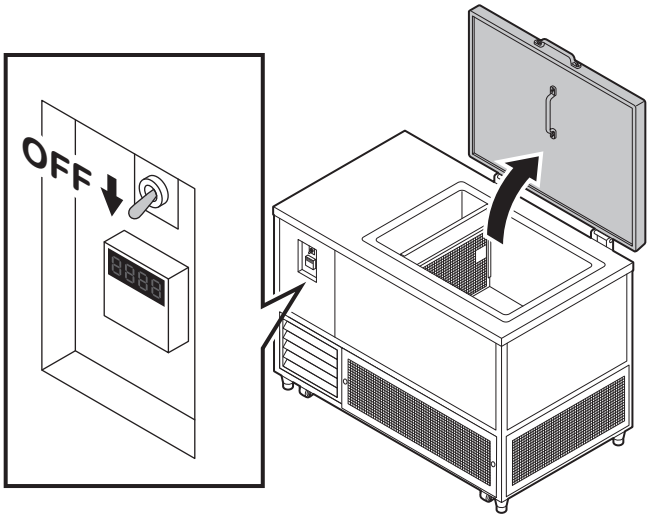
【2】冷凍液が汚れているとき
⇒食品が漏れ出したりして汚れがひどいときは、「冷凍液の交換」（P19参照）の手順で冷凍液をすべて交換してください。

注 意

上記【2】のときは必ず冷凍液をすべて交換してください。
冷凍液を交換しないと正常に食品を冷凍することができず、冷却不足による食品の品質低下の原因になります。

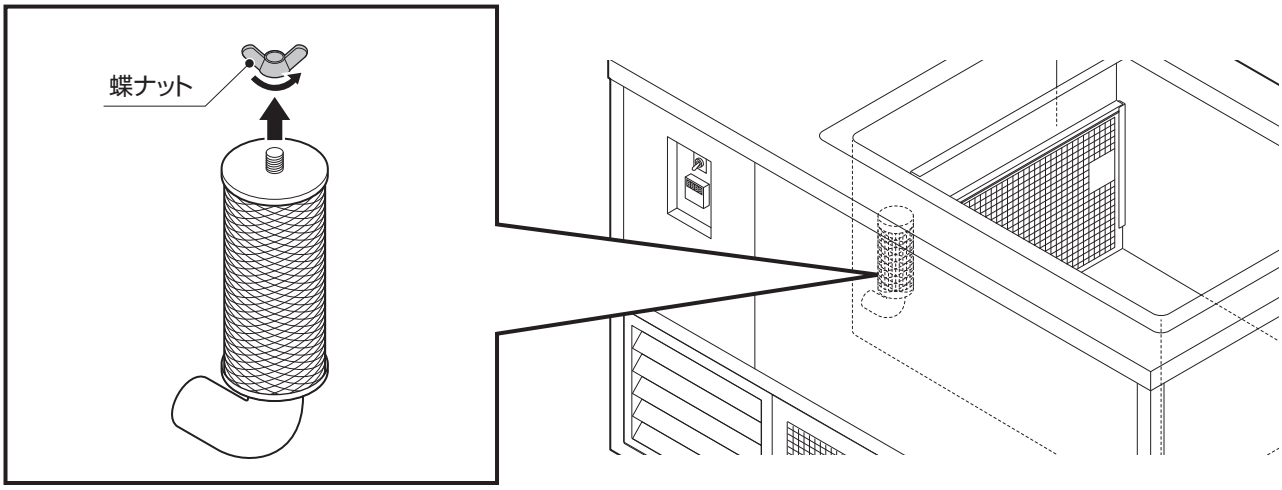
庫内フィルターの清掃

ゴミが溜まって庫内フィルターが詰まると、正常に冷却が行われません。
定期的に清掃してください。

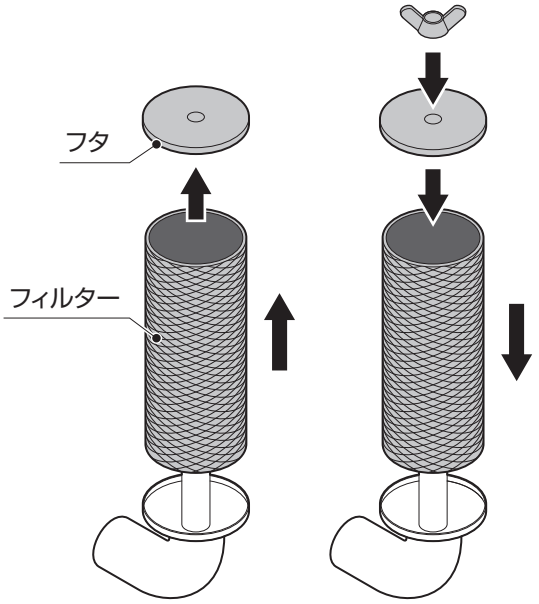


①電源スイッチを“OFF”にします。
②扉を開けます。
③冷凍液を抜きます（P19参照）。

④蝶ナットを取り外します。



⑤フタを外します。
⑥庫内フィルターを外します。
⑦庫内フィルターを水洗いします。
⑧庫内フィルターの水気を拭き取り、
完全に乾かします。
⑨逆の手順で庫内フィルターと
フタ、蝶ナットを取り付けます。

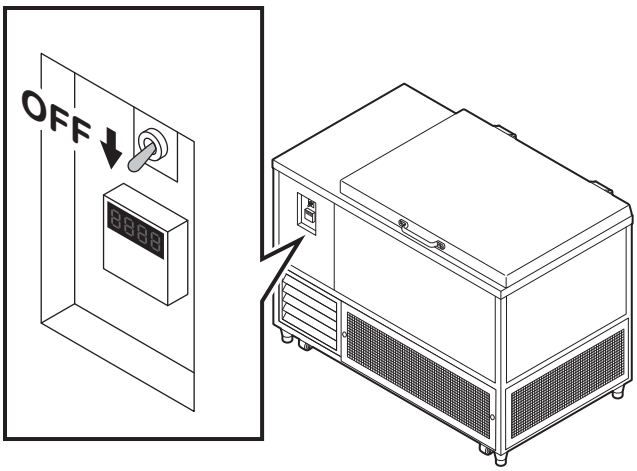


注 意

庫内フィルターを取り付けるときに、異物が混入しないように注意してください。作動不良の原因になります。

コンデンサーフィルターの清掃

コンデンサーフィルターが目詰まりしていると、正常に冷却が行われません。
定期的に清掃してください。



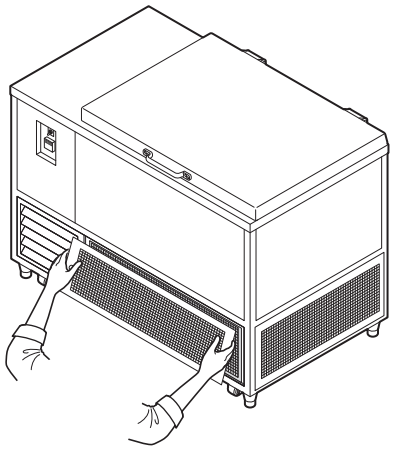
①電源スイッチを”OFF”にします。

②本体前面の下のパネルを開けて、コンデンサーフィルターを外します。

③取り外したコンデンサーフィルターを、水洗いします。

注 意

汚れが落ちにくい場合は、中性洗剤を使用してください。

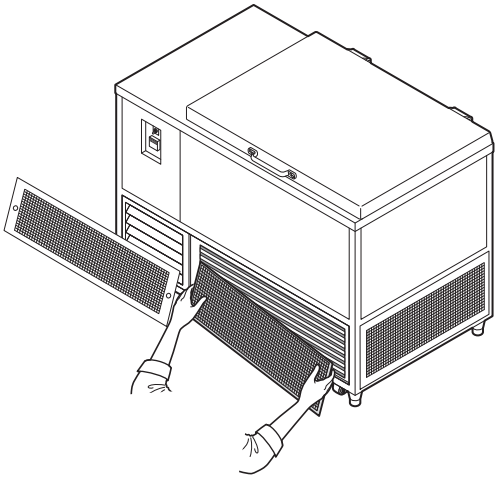


④コンデンサーフィルターの水気を乾いた布で拭き取り、完全に乾かします。

⑤逆の手順でコンデンサーフィルター、パネルの順に取り付けてください。

注 意

- コンデンサーフィルターより内部に手や指が触れると、ケガをする恐れがあります。
- コンデンサーフィルターがない状態で長時間稼働させると、ホコリなどが内部へ進入し、トラブルの原因となります。

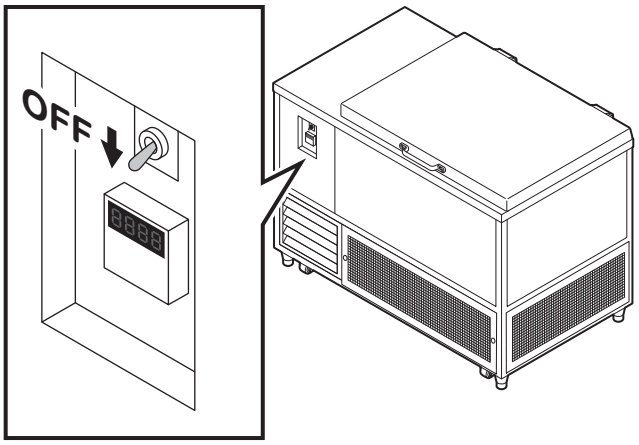


冷凍液の交換

次の手順で冷凍液を交換してください。

①電源スイッチを“OFF”にします。

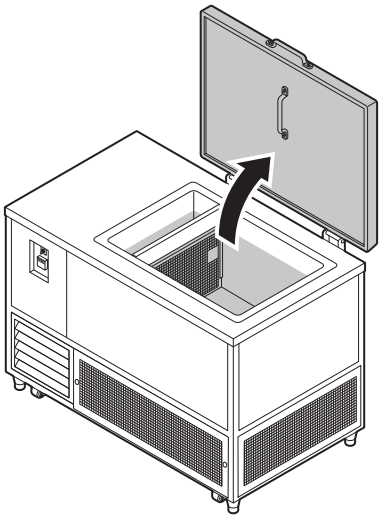
②冷凍液が常温に戻るのを待ちます。



冷凍液は温度が上がると膨張します。冷えた状態で缶に移して常温に戻ると、缶の中で膨張し吹き出す危険性があります。

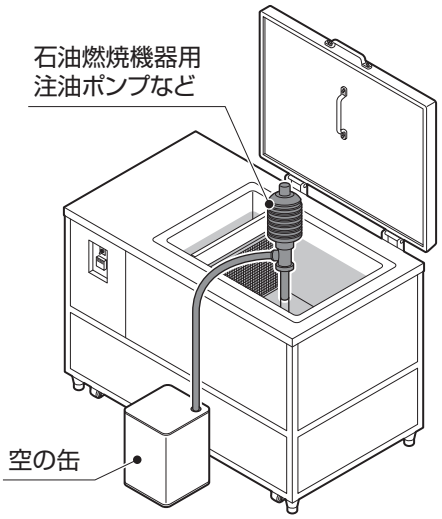
冷凍液は、必ず「冷却槽内」で常温に戻してから交換してください。

③扉を開けます。



④「石油燃焼機器用注油ポンプ」などを用いて、冷凍液を抜きます。

⑤冷却槽を拭きます（P16参照）。

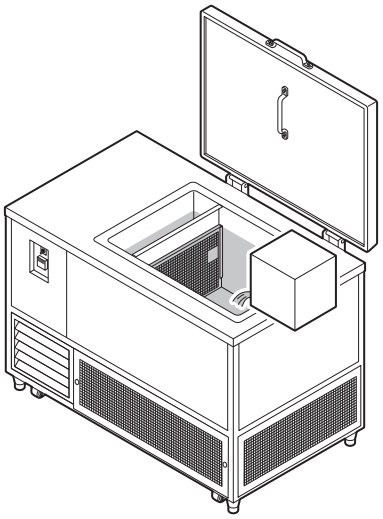


注 意

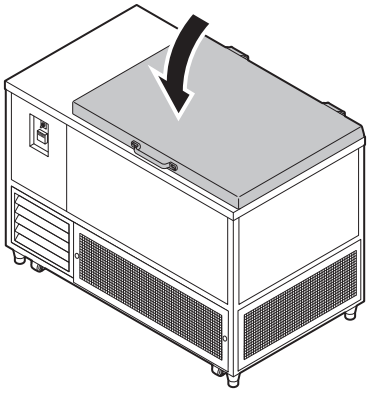
- 冷凍液は、アルコール耐性のある容器か空の缶に移してください。また、新しい冷凍液と混合しないように、使用済みの冷凍液をいれた容器には目印を付けて管理してください。
- 冷凍液を冷却槽に戻すときは、ごみ取りネットなどを介して戻してください。
- 冷凍液を廃棄する際は、廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

⑥庫内フィルターを清掃します（P17参照）。

⑦新しい冷凍液を入れます（P9参照）。



⑧扉を閉めます。



長期間使用しない場合の清掃

長期間使用しない場合は、以下の手順で清掃を行ってください。

①冷凍液を抜きます（P19参照）。

②冷却槽内を拭きます。

③扉を閉めます。

注 意

冷凍液をそのまま放置すると、以下のような事故に繋がる恐れがあるのですべて抜き、その後、扉は必ず閉めてください。

●冷却槽内に人が落ちておぼれることによる窒息や誤飲など。

●異物が混入し冷凍液や食品が汚染されることによる劣化や品質低下など。

定期点検 21

冷凍性能を保つため、定期的に次の点検を行ってください。

ご不審な点がありましたら、すぐにお買い求めの販売店、または当社「お問い合わせ窓口」にご連絡ください。

毎日の点検（ご使用の前に）

●結露など冷凍液以外の水気が付着していませんか?

⇒結露などの水気が付着している場合は、拭き取ってください（P16参照）。

●ゴミなどの異物が浮遊していませんか?

⇒浮遊物がある場合は、取り除いてください。

●庫内フィルターにゴミが詰まっていませんか?

⇒詰まっている場合は、フィルターを清掃してください（P17参照）。

●コンデンサーフィルターが目詰まりしていませんか?

⇒詰まっている場合は、フィルターを清掃してください（P18参照）。

●冷凍液が汚れていませんか?

⇒汚れている場合は、冷凍液をすべて交換してください（P19参照）。

●冷凍液が不足していませんか?

⇒不足している場合は、冷凍液を補充してください（P15参照）。

●電源を入れても冷凍液が“−30℃以下”にならない。

⇒使用せず、お買い求めの販売店、または当社「お問い合わせ窓口」にご連絡ください。

半年〜1年に一度の点検

●電源プラグが電源コンセントに確実に差し込まれていますか?

⇒差し込みが緩い場合は、確実に差し込み直してください。

●電源プラグにほこりが堆積していませんか?

⇒ほこりが溜まっている場合は、清掃してください。

●電源プラグやその他の電気系統において、異常な発熱などはありませんか?

⇒使用せず、お買い求めの販売店、または当社「お問い合わせ窓口」にご連絡ください。

故障かな?と思ったら

お買い求めの販売店または当社「お問い合わせ窓口」にご相談いただく前に、次の点検を行ってください。

症　状	原　因	対処方法	ページ
正常に運転しないとき	『電源スイッチ』がOFFになっている	『電源スイッチ』をONにする	10
	ヒューズやブレーカーが切れている	復帰させる	−
	停電している	停電が解消されるのを待つ	−
冷凍液が冷えない	適切なスペースを確保していない	適切な場所に設置する	6
	使用環境温度が高い	使用環境温度が5~30℃の場所に設置する	6
	火気の近くや、直射日光のあたる場所に設置している	適切な場所に設置する	6
	製品の周囲に物が置かれている	障害物を取り除く	6
	扉が開いている	扉を確実に閉める	−
	庫内フィルターにゴミが詰まっている	庫内フィルターを清掃する	17
	コンデンサーフィルターが目詰まりしている	コンデンサーフィルターを清掃する	18
	指定外の冷凍液を使用している	当社指定の冷凍液「ラピノールCL」を使用する	−
	冷凍液が汚れている	冷凍液を交換する	19
	扉が開いている	扉を確実に閉める	−
食品が凍結しない	冷却不足 ※“−30℃以下”に達していない	温度が“−30℃以下”になるまで待つ	10
	指定外の冷凍液を使用している	当社指定の冷凍液「ラピノールCL」を使用する	−
	食品の脱気密封が適切でない	適切に脱気密封する	11
	投入した食品の量が多すぎる	投入する食品の量を調整する	11
	冷凍液が不足している	冷凍液を補充する	15
	冷凍液が汚れている	冷凍液を交換する	19

上記の点検を行っても直らないときは、ご自分で修理なさらず、下記の機能停止操作を行ってください。そのあと、お買い求めの販売店、または当社「お問い合わせ窓口」にご連絡ください。

機能停止操作　電源スイッチを“OFF”にし、電源プラグを抜く。

次の症状のときは、ただちに運転を停止してお買い求めの販売店、または当社「お問い合わせ窓口」にご連絡ください。

(1) ブレーカー、ヒューズがたびたび切れるとき。
(2) 電源プラグやコードが異常に熱いとき。
(3) スイッチなどの動作が不確実なとき。
(4) 本体内部に誤って異物や水が入ってしまったとき。

仕　様

項　目	内　容
名　称	ラピッドフリーザー
型　式	SF-10
外形寸法	W1,300 × D810 × H950 mm（小数点以下切り上げ）
製品質量	約215kg（付属品、冷凍液は除く）
電源電圧	三相AC200V　50/60Hz
電源コード	長さ約4m
定格消費電力	2.8/3.2kW
使用環境温度	5～30℃
使用環境湿度	25～85%（結露および氷結なきこと）
最大冷凍処理量	10kg/h（※弊社試験条件による）
使用冷凍液	ラピノールCL
冷凍液容量	100L
冷　媒	フロンR404A
冷媒量	2.0kg
付属品	標準ラック2個

本仕様は性能向上のため、予告なく変更されることがありますのでご了承ください。

仕　様

項　目	内　容
名　称	ラピッドフリーザー
型　式	SF-20
外形寸法	W1,600 × D810 × H950 mm（小数点以下切り上げ）
製品質量	約245kg（付属品、冷凍液は除く）
電源電圧	三相AC200V　50/60Hz
電源コード	長さ約4m
定格消費電力	3.1/3.7kW
使用環境温度	5～30℃
使用環境湿度	25～85%（結露および氷結なきこと）
最大冷凍処理量	20kg/h（※弊社試験条件による）
使用冷凍液	ラピノールCL
冷凍液容量	140L
冷　媒	フロンR404A
冷媒量	3.5kg
付属品	標準ラック3個

本仕様は性能向上のため、予告なく変更されることがありますのでご了承ください。

アフターサービス 25

アフターサービスについて

●アフターサービスでお困りの場合は

アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合はお買い求めの販売店、または当社「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。

※故障の場合は“ご購入日”“本製品の型式”“できるだけ詳しい故障状態”をお知らせください。

●転居されるときは

ご転居により、お買い求めの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もってお買い求めの販売店、または当社「お問い合わせ窓口」にご連絡ください。ご転居先での販売店、または最寄りの当社サービス拠点を紹介させていただきます。

お問い合わせ窓口
サラヤ株式会社
〒546-0013 大阪市東住吉区湯里2-2-8
TEL.06-6797-2525　URL.https://www.saraya.com/
電話受付:平日（土日および祝祭日、弊社休日を除く）9:00～18:00

●お問い合わせ窓口では、製品のご使用方法やメンテナンスに関するお問い合わせ、最寄りのサービス拠点のご案内を承っております。

20190306-05PDF/MS